

4月は始まりの季節。しかしメキシコで生活していると「新年度」という言葉をすっかり忘れてしまいそうです。私たちのスペイン語のクラスは終盤へと向かい、月末には期末テストがありました。また、「セマナサンタ」と言って、いわゆるイースターの時期には一週間の長期休みがあったり、さらに月末には広島県人会の皆さんと協力してお祭りで出店をしたりと盛りだくさんな月でした。今回のレポートでは長期休みに訪れたアカプルコのお話と、広島県人会の皆さんと出した出店について書いていきたいと思います。

アカプルコで亀について学ぶ！

アカプルコと言いますとメキシコの有名なリゾート地の一つとして知られていて、私も日本にいるときから是非訪れてみたいと思っていた場所の一つでした。本当はカンクンという高級リゾート地にあわよくば行きたいと思ったのですが、距離的にも金銭的にも難しくて断念しました…。せっかくの一週間の長期休暇、家でおとなしく過ごすしかないかと思っていましたがメキシコ人の友達から、家族と他の友人数名でアカプルコに行かないかと誘われて飛びつきました。



年間200~300万人の観光客が訪れるといわれており、青空の下、海鮮を楽しみながら海を観賞できるビーチリゾートです。しかし、今回私たちが向かった先は多くの人々が訪れるビーチではなく、ウミガメ保護に努めるメキシコ人が所有するプライベートビーチ。プライベートビーチなのでとても落ち着いた雰囲気の中、ゆったりとした時間を過ごすとともに、赤ちゃんウミガメを海に放すという貴重な体験をすることができました。所有者のメキシコ人は観光客にウミガメを放すという機会を提供するとともに毎日小さな講習会を開くことによってウミガメ保護の大切さについて伝えています。

そこはウミガメを保護し、その重要性を次の世代に伝えていくことで不当なウミガメの売買をなくすための取り組みをしています。私たちは5日間そのプライベートビーチに滞在させていただいたので5回も同じ講習を聞き、最終日にはスペイン語でもだいたい理解できるようになったと思います。ウミガメの甲羅で作った製品が不当に出回っており、不老の薬だとうたわれているようですが、全くの嘘だということです。このような間違った情報によってウミガメは絶滅の危機にさらされています。どうかできるだけ多くの人々が正しい知識を身につけ、ウミガメの保護に協力していただけたらと思います。



夕方になるとウミガメの赤ちゃんを海に放すことができます。貴重な体験に感動しました！

初の試み！広島風お好み焼きをメキシコで！

4月末日に行われた「春まつり」。日本の文化をメキシコ人に伝えるために行われているお祭りで、日本の物や日本料理を楽しむことができます。メキシコ人の日本に対する興味は年々高まっており、会場前の時間から長い行列ができるほど。広島県人会は今まで出店をしたことがなかったそうですが、今回初の試みとして広島風お好み焼きを販売することになりました。お祭りの前日に広島県人会会長の平田ビクトルさんの家で55玉のキャベツを千切りにする作業をお手伝いしました。私は広島出身で両親が毎週のように週末はお好み焼きを作ってくれて、小さなころから作り方を知っていたので、当日は調理の担当になりました。売れるかどうか、初めてなので誰も予想できませんでしたが、なんとお好み焼きはメキシコ人に大好評！リピーターも続出するほどで、当日は並ぶ人が6, 7時間ほど途絶えることないほどの大人気でした。私も休みなく働き続け、100枚以上お好み焼きを焼くという初めての経験にクタクタになりつつも、広島のお好み焼きを「おいしい！」と言って食べてくれることがとても嬉しく、完売した時には達成感でいっぱいでした。

お祭りには9000人ほどの人が訪れたそうで、なかには1時間並んだのに入場券が無くなってしまい入れなかったという人もいたほどです。メキシコでの日本文化人気に対して日本ではメキシコはまだまだ認知度が低いように思います。きっと日本にいたら、まさかこれほどのメキシコ人が日本文化を愛し、日本に興味を持っているなんて想像できないと思います。

